石屋工務店 かわら版

第122号

H27年6月16日 発行

石屋工務店 TEL 075 492-1483（シックニ イシヤサン）

〒603-8474 京都市北区大宮薬師山東町 47－5　建設業／京都府知事(般-25)第 31625 号　インテリアコーディネーター登録店

料人 石屋の多趣味人生 その98

祝 竣工

永年工務店をしておりますのでいろんなお客様のお家の竣工に立ち合います。その中でも六月十一日に竣工いたしました「医療法人八田内科医院」様は心に残る竣工となりました。

最初にお話をいただいたのは2年半前。現在の医院の改装及び増築のお話でした。修学院で地域に根ざした医療をされていますので休院する事はできません。頼りにされている患者さんがいっぱいいらっしゃいます。その為診療を続けながらの改装となりました。現在の耐震強度に合わすために建物の補強も課題の一つでした。部分部分をはつって骨組の確認をし、そして補強工事をしていきます。診察時間は患者さんの迷惑になる為大きい音の出る工事はできません。そうやってちょっとずつ工事は進んでいきます。当初の予定より補強ヶ所が増えていくため、なかなか工事が進まない憤りがありました。そのうちちゃんと終わる日が来るんだと思うのですが、いつ終わるんだろうとの不安も湧いてきます。補強工事目途がついたのが今年の初め、そこからは一気に工事は進み、六月十一日を迎えました。

その日にお施主様より慰労の為のパーティにお招きいただきました。当社がご迷惑をかけたのですが、八田先生より感謝の言葉をいただき感無量でした。ありがとうございます。

こうやってひとつずつ工事を積み上げていく事が私たちの仕事です。今後もお施主様に感謝していただけるような工事を続けて行きたいと改めて思いました。

石屋 紀次

もくずがにのその後

去年の秋の瓦版113号に「自切したもくずがに」の話を書きました。かすかに覚えておられる方もいらっしゃるかもしれません。半年以上経ってあのもくずがにはどうなったかというと、元気に生きて、一回り大きくなっています。エサは勿論人様が食べるのと同じ烏賊や鯛のお刺身です。ええもん食べてます。外敵はいないのですからぬくぬくと暮らしています。はさみが片方だけと自然では生きてはいけないのですが、我が家なら口元まで餌を持っていって食べさせるので、食べ物には困らないと感じているか分かりませんが極楽だと思います。そしてこの無くなった付根のところに小さいハサミが出てきました。

「お～っ！成長しているなぁ～」と感じるばかりです。

元の大きさまでハサミが大きくなることは難しいだろうけど、長生きして欲しいと思うこのごろです。

石坂 晴夫

お店発見

梅雨に入り、ころころと天気が変わり自転車通勤の私には、悩ましい季節になりました。

以前の瓦版にも書いたのですが、美味しいお店の食べ歩きが大好きです。そこで、先日発見したお店をご紹介します。そこは、現在施工させて頂いている修学院の現場の近くで、たまたまお昼ご飯を食べる場所を探していた時に発見したカフェなのですが、お店の名前は「Foodelica」と言います。修学院駅の近くの小さなお店です。ランチに食べたのはランチプレートセットで、一つのお皿にいろいろな種類が組み合わされていました。どれも手作りされているとの事でした。その日は、お客さまも外国の方が多く来られておりスタッフの方と英語で談笑されていました。意外な場所におしゃれなお店があるなぁと嬉しくなりました。どこに行っても食いしん棒のアンテナを働かせて新しい店を発見したいと思います。

山本 夕起子

助け合い

大学の課題の難易度も3年生レベルになり、大変難しくなってまいりました。通信の大学の勉強スタイルは自宅で教科書を片手にレポートを書いて提出することです。課題に対して何を書けばいいのか難しい課題もあり、学友も遠くにいるため相談もできません。それが原因で留年や大学を途中で去っていく人もいました。ですので、そんな通信生活をみんなで助け合う学習会を学友を誘って発足しました。今年に入って、毎月休みの日に図書館の学習室を借りて朝から晩まで課題付けです。現代ではフェイスブックやSNS等で所属している学科のコミュニティを気軽に作ることができ、遠くにいる学友や入学年度の違う学友にも気軽に迅速に連絡することができるようになり、毎月多くの学友が参加しています。学友は業種業界様々な人がいて、お互いの苦手な課題を教え合って、よりよいレポートが書けるようになった人の声をよく聞きます。学習会を行うのは準備など大変なところもありますが、その会でよいものを得られる人がいるならば、学習会を続けていくための糧になります。参加してくれる学友がいる限り、このまま続けていこうと思います。

古野 充宏

五月病？

先月は誕生日もあり楽しい気分で浮き足立っていたのですが、誕生日から後三週間ほどは風邪に苦しめられ、二十一歳は散々なスタートになってしまいました。なんとなく気分が上がらなくて五月病かな～なんて思ったりもした後、数日おきに高熱が出て、微熱も続き、はじめの発症から二週間後に病院へ行ったときには気管支炎になっていました。いつもは病院へ行かなくても治るのですが、今回ばかりはもっと早く行くべきでした。あれだけ長引いていたのに、病院で薬をもらうと驚くほど効果がありました。でもその頃には少々遅く、月末に予定していた北海道研修もキャンセルし、航空券に払ったお金も無駄になってしまいました。大学の授業も度々休み、テストの日に休んでしまったりもしたので、今期の単位は危うくなりそうです。やっぱり健康第一！意地を張らず病院へは早めに行くべきだと学びました。これから夏に向けて忙しくなりそうですが、健康に気をつけてがんばろうと思います。

中西 恵梨